

## 編集後記

編集後記を書いているこの時期は、梅雨のまっただ中です。今年は、アジア各地で集中豪雨の被害が報じられています。地球温暖化による海水温度上昇が、原因と言われています。産業に関わる者として、どんな形で地球温暖化防止に貢献できるかと、考えさせられます。

さて、今回のニューズレターの巻頭言では、「電気学会産業応用部門部門長就任にあたって」を、齋藤新部門長にご執筆いただきました。今後の取り組みとして、部門活性化、これからの会員のメリットについて書かれた内容となっております。新たな産業応用部門の発展が始まります。

資料コーナーでは、政府広報オンラインより「インター

ネットを悪用した人権侵害はやめよう」を、高橋様からご紹介いただいております。様々な問題を抱えたまま、近年急速にインターネット人口が増えています。便利なインターネットもモラルとマナーがあってこそ成り立ちます。

特集予告記事では、10月号特集「LDIA 特集号」予告記事を引原先生からご紹介いただいております。Linear Drives for Industry Applications (LDIA)は、電気学会が主催する国際会議です。電気学会産業応用部門誌の国際化の活動に合わせて、英文論文の収録が更に進んでいくと思われれます。

最後に、ご多忙の中、原稿を執筆して頂いた皆様、ならびに担当委員の皆様に、厚く御礼申し上げます。

エディタ 桐谷 知明 (東洋電機製造)

### 【10月号特集「LDIA 特集号」予告】

引原 隆士 (京都大学工学研究科)

国際会議 Linear Drives for Industry Applications (LDIA)は、電気学会が主催する国際会議の一つである。平成17年9月に兵庫県淡路市夢舞台開催された LDIA2005 が第5回目に当たる。LDIA 開催当初は国内における開催が中心であったが、最近では隔年で国内、海外を繰り返している。2007年はフランスでの開催準備が進められている。

LDIA で発表された論文の公表はこれまで会議録に留まっていたが、海外からの出席者が参加者の半数を超えるに至り、参加者からはその国際的に認知に対して強い希望が出されていた。その発表成果を LDIA における議論を踏まえた論文として論文誌特集号等に収録する希望が高かったこと、海外の出版社からの出版企画提案を受けたこと、さらに電気学会産業応用部門誌の国際化の活動に合わせた英文論文の収録の奨励および国際会議特集号の企画を認められるようになったことを受けて、本 LDIA 特集号の企画を提案する運びとなり、編修広報委員会でその企画が承認された。

本特集号は、LDIA2005 で発表された論文141件の中から、評価者により推薦を受けた論文13件、および発表論文を発展させて投稿された一般論文からなる。各論文は推薦の有無にかかわらず、会議の論文委員会の作業とは別に再度電気学会の通常査読過程を経たものである。扱いとしては、これまでの特集号の企画と同じとなる。大きな違いは、IPEC 特集号同様、全ての論文が英文論文であることである。また、推薦論文を主として収録するため、LDIA の主要な成果をまとめた質の高い特集号となった。残念ながら、電気学会論文誌が SCI 登録されていないこともあり推薦を辞退するものもあったが、本分野の重要性から関係なく特集号の企画を今後も続けるべきとの声を海外からも頂いている。本特集号が電気学会産業応用部門国際化の推進の一つの切欠になると信じている。